



2011 年度 室内環境学会化学物質分科会

震災関連緊急報告会を開催しました

日 時：2011 年 8 月 6 日（土）13:00～15:00

場 所：東海大学湘南校舎 17 号館 5 階 519 室

参加者：化学物質分科会委員 8 名、委員外 5 名（計 13 名）

コーディネーター：関根嘉香（分科会長）

内 容：報告内容の概要を記します。

1) 仮設住宅の室内空气中化学物質濃度調査結果

話者：笈川大介（委員）

（概要）宮城県で実施している応急仮設住宅の室内空気質検査を学術的な面からサポートし、より良い室内環境づくりに寄与することを目的に、6 月に現地にて詳細調査を行った。その結果、公定 5 物質については、全測定点で厚生労働省室内濃度指針値以下の濃度であった。しかし TVOC 濃度が暫定目標値の約 4 倍～7.5 倍であり、化学反応由来と思われる化学物質が検出された。定量可能であった化学物質の最低濃度と最高濃度の差は、仮設住宅間で概ね 1.5～2 倍あった。本調査は、東海大学仮設住宅 IAQ 調査プロジェクトとして実施された。



2) 東日本大震災前後の神奈川県西部の大気環境

話者：池田四郎（委員）

（概要）東日本大震災後に神奈川県平塚市で捕集した大気粉じんサンプルに、放射性物質の存在

が確認された。各サンプルの放散線計数値の半減期が異なることから、含まれる放射性核種に違いがあることがわかった。またアンダーセン・サンプラーにより捕集した大気粉じんを分析、¹³¹I、¹³⁴Cs、¹³⁷Csの粒径分布を求め、核種によって化学形態や拡散挙動が異なることが示唆された。

3) その他

- ・分析展 2011/科学機器展 2011 合同展・講演会について
- ・第2回分科会 10月22日(土) 15:00~17:00 五洋建設株式会社会議室
「シリコン樹脂施工フローリングによる室内環境の改善(仮題)」
講師: サンスター技研株式会社 吉田友之氏

以上